

項目	内容
名称	フミン酸、腐植酸 [英]Humic acid [学名]-
概要	<p>フミン酸は、土壌や河川中の堆積物や有機物が分解・変質を受けて生じた腐植物質のうち、アルカリ可溶分画をさらに酸で処理した際に沈殿する画分のことである。なお、この時に沈殿しない画分はフルボ酸と呼ばれる。フミン酸は一つの物質ではなく混合物の総称で、原材料の採取場所、起源物質、環境や分離精製法により、その性質が異なる。そこでフミン酸の分析に利用する標準物質については、その精製手法による違いを最小限にするため、国際腐植物質学会では標準物質の国際的な調製法 (IHSS法) を定めている。日本腐植物質学会の標準試料もこの方法により調製されている</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none">・アルカリに可溶で酸により沈殿する。カルボキシル基、フェノール性ヒドロキシ基、カルボニル基、アルコール性ヒドロキシ基などを含む (32) 。・一つの物質ではなく、混合物の総称で(101)、起源や分離精製方法により性質がことなる (102) 。
分析法	<ul style="list-style-type: none">・日本腐植物質学会の標準試料中のフミン酸の特徴をCP/Mass、ESR、XPS、GC/MS、THM-GC (103) 、FTICR-MS、XDR (104) で分析した報告がある。

有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒト生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
で脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
の免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (32) 生化学辞典 第4版 東京化学同人 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:2143602) Thromb Res 1990;58(6):537-541.
	(PMID:14757965) Biofactors. 2003;19(3-4):145-53. (101) Humic Substances Res. 2006;3:1-9. (102) Soil Sci Plant Nutri. 1994;40:601-8. (103) Humic Substances Res. 2004;1:18-28. (104) Humic Substances Res. 2012;9:25-33.